

## 葛飾柴又の魅力満喫

大滝恵三（大手町出身）

寅さんのふるさと柴又は  
上越市浦川原区と姉妹提携

七月の第五回勉強会に参加した時、担当理事の藤沢さんに次回の企画を頼まれた。私の住んでいる葛飾区には全国ブランドの柴又があり、その柴又は一昨年上越市に編入した浦川原区と姉妹提携しており、しかも十一月には恒例の交流イベントがあることを知っていた。早速、実施日はその日に合わせることにし、内容をいかに勉強会らしくするか、具体的に検討しながら関係者への打診、根回しを始め、八月末には企画案がほぼ固まった。題して「寅さんのふるさと、浦川原区と姉妹提携 葛飾柴又の魅力を探る」。九月の運営委員会に間に合うように企画内容を提案したところ、藤沢理事から承認をいただいたので、九、十、十一月のサロンに出席してPRし、九月のJネットだより

には参加者募集要項が掲載された。

柴又と浦川原の関係を紹介する。太平洋戦争の末期、東京が危なくなってきた昭和十九年八月、東京都内の小学校当時国民学校と称した。は学校単位で地方に疎開、葛飾区内十八校は全て新潟県内で、柴又小は旧浦川原村であった。因みに旧高田市には金町小など三校が疎開。学童集団疎開を縁に生まれた交流が今も定期的に行われているのは浦川原・柴又のみで、八月に柴又小四年生が一泊二日で浦川原を訪問、十月には浦川原の四年生が一泊二日で柴又を訪問、そして十一月の三日曜日に柴又で交流フェアを開催。定期的な交流は今年で十九年目。

うらがわら柴又交流フェア07  
開会式典に上越市幹部も参列

十一月十八日(日)朝方は冷えこんだが、

昼間は二十度近くなる、の天気予報通りだんだん暖かくなる。帝釈天境内での十時からの式典の前に、関係者にあいさつ。今回は上越市が初めて共催として参画、物産コーナーもあり、上越市から村山秀幸副市長はじめ小林毅夫教育長、さくらキャンペーン大使の北井さくらさんなど多数が来場していた。式典では北井さんが司会を務め、来賓では、地元元の区長、教育長、衆議院議員、都議、区議など顔見知り多数参列していた。

フーテンの寅像前からフェア会場へ

今回の参加者の集合時間十一時の三十分前に集合場所の柴又駅前、フーテンの寅像前に着くと、すでに五、六人が集まっていた。心配していたトタキャンは一人もなく、逆に参加者は二人増え、和久井会長以下、二十一人となる。

十一時過ぎ、今回の最初の見学地、交流フェア開催の帝釈天境内特設会場へ。会場では物産販売の他、浦川原産の餅つき大会、交流ふれあいゲームなどのイベントもあつて、かなりの賑いぶりだった。

昼食時の亀家本舗でゲスト二人の話

十二時までに帝釈天門前の団子屋・亀家本舗に集合。今回の参加者交流の場で、昼食を取りながらゲスト二人の話聞く。まず、旧高田市での疎開体験談を野口



大滝恵三さん

房夫さんから。この勉強会参加者は大高田地方出身者であることから、金町小時代に高田へ集団疎開された野口さんをお願いした。同氏は現在七十二歳で、東金町中央自治会長。疎開当時は小学校五、六年。昭和十九年八月三十日、先生や母親代わりの寮母を加え約三百人が金町を出発、翌日高田に到着、約半数が料亭やすね、残り半数が植木屋旅館と森屋旅館に。同氏は植木屋・森屋・植木屋と移動。就学は大町小、翌二十年七月、戦禍一段と激しくなり市街地は危い、と再疎開。旧津有村上野田の西方寺へ。就学は戸野目小。そして終戦、同年十月三十一日高田駅出発、翌日金町に帰郷。この間一年二カ月、親恋しき、しらみ、空腹、想像もしなかった豪雪と戦いながらの集団生活だったとのこと。高田測候所史上最高積雪を記録した昭和二十年二月の豪雪は森屋の時に体験。本町



本堂の帝釈堂内陣外側には、平成三年に完成したガラス張りの彫刻ギャラリーがあり、その中の法華経説話彫刻と、帝釈堂前面の十二支彫刻は、大正から昭和初期の彫刻師によるもので、極めて文化的価値の高いものという。特に法華経説話彫刻は十枚の胴羽目彫刻で、仏教教典の中で最も有名な法華経絵巻を題材にしている。一枚の大きさはふすま大。ガイドはこれだけの彫刻の規模と見事さは日本一では、と絶賛していた。最後に、映画でお馴染みの本堂と瑞龍松の前で全員の集合写真を撮って本日の全行程終了。

参加者のご協力により予定より早目に終わったこともあり、もう一度亀家本舗二階座敷に寄り一服。ここで和久井会長に締めのごあいさつをお願いしたところ「今回の参加者は今までで一番多かった。幹事さんのお陰で今日は楽しい思いをしました」とお誉めの言葉をいただきましたが、私としては今回は勉強会に相応しくなかったのでは、また無冠の私が全面的に取り仕切っていたが、これで良かったのだろうか、自問自答している。



帝釈天境内



参道入口



うらがわら柴又交流フェア



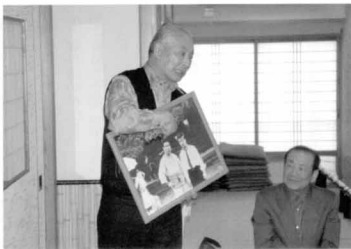
映画の「くるまや」のモデルとなった亀家本舗



蒲川原区のテント前で



帝釈天をバックに



岩崎社長（左）と野口さん



江戸川土手で記念撮影



映画でお馴染み帝釈天の本堂と瑞龍松



山本部の庭園



帝釈天の彫刻ギャラリー



山本部の客間